

第1回たまな未来カフェ開催結果

日時：平成27年10月31日（土）13：30～16：00

場所：市役所4階 会議室

参加者数：約70名

（ご記入頂いた方の内訳：中・高校生14人、学生16人、PTA8人、その他24人）

（1）当日のプログラム

時間	内容
13:30	1. 開会 2. あいさつ 3. カフェについての趣旨説明 ・総合計画の策定 ・カフェ開催の趣旨と成果の反映 ・受付シート記入のお願い 進行役の紹介（福岡県まちづくり専門家：貞清） ・カフェのプログラム説明
13:40	4. カフェスタート ①参加者紹介 ・A4 ネームシートに記入後、班内で自己紹介
13:55	②総合計画について
14:10	③玉名市の将来像を考える ◆目標：自分が思う玉名市の将来の姿は？ ラウンド1 ◆発問1：・玉名市の魅力やいいところは？ ・玉名市の問題や困っていることは？ ・これからの玉名市について思うことは？ ※発問に対して思うことや気づいたこと等々をクラフト紙に記述しながら、班の中で自由に意見交換 ラウンド2 ※班の中でホスト役1人を残し、他の人は他の班へ ※新たな班で簡単に自己紹介して、意見交換（情報収集） ラウンド3 ※元の班に戻って、意見交換 ◆発問2：・目指す玉名市の将来の姿は？ ・将来の姿を実現するために取り組むべきことは（アイデア）？ ※個人個人でA4用紙に記入して意見交換 ※班で共感できる将来の姿、実現のためのアイデアをクラフト紙に書き出す
15:50	④インタビュー
16:00	5. 閉会

(2) 当日の様子



(3) 玉名市の将来の姿について

- ・参加者全員に玉名市の将来の姿について考えてもらい、計 116 件の意見を頂いた。
- ・大きく分類すると、「にぎわいのあるまち」との意見が 44 件、「くらしやすいまち」との意見が 37 件、「安心・安全のまち」との意見が 14 件であった。

将来の姿（方向性）	意見数
にぎわいのあるまち	44
暮らしやすいまち	37
安心・安全のまち	14
文化のあるまち	8
多世代交流のまち	5
自然があるまち	3
その他	5
総計	116

①にぎわいのあるまちに関する意見（若い人が集う・残る、観光、雇用など）

- ・若い人が賑わう町
- ・若い人も楽しむことができるまち（玉名に残りたいと思う、玉名で遊べる、玉名を使える）
- ・玉名市に立ち寄ってみようかな？と思えるようなテーマパークやデートスポットができ、たくさんの方が訪れる町になったらいいです
- ・若い人達が集まる活気あふれる町
- ・看護大の学生がバイトのできる場所、カフェ、24 時間の店、看護大の学生達の仕事を玉名に作ってほしい
- ・学生（若い人）が遊びに来るなら玉名と言える町
- ・遊ぶ所がほしい
- ・就職してずっと住み続けられる町になってほしい
- ・24 時間営業している所
- ・活気ある町
- ・学生→仕事まで
- ・活気ある町 住みやすい町
- ・農業で儲かる→後継者増、他市町からの移住
- ・観光客が溢れるまち
- ・お年寄りから若者まで明るくて元気なまち
- ・企業誘致、若者が出ないように
- ・24 時間営業の店がある
- ・学生が将来住みやすいと思えるような町
- ・町全体が協力して発展していく
- ・農家が潤って、玉名市全体が活気づけば良い
- ・大企業に来て欲しい（雇用が増えて欲しい）
- ・サッカー場、グラウンドを新玉名駅周辺に作り、イベント（コンサート）開催
- ・企業が増えれば、子ども達の働く場所が地元にあるので良いと思います
- ・町でのイベント（道路を封鎖して行う）
- ・若い人があふれ、活気あるまち
- ・誰でも楽しく過ごすことができ、「玉名といえば〇〇」といった目玉となるものがあるまち
- ・24 時間営業の店を増やす
- ・企業を増やす
- ・学校から駅に行く道にカフェなど、学生のための場所があるといい
- ・デパート（ゆめタウン）でイベント
- ・若い世代が玉名に残れるように大手企業が来るといいな
- ・若い子たちの遊べる場所（交流できる場）が増えるといいな
- ・若い人が玉名市に残る町になったらいいなと思います

- ・観光の要素が連携して欲しい
- ・デートスポットとか若い人が遊べるところがほしい
- ・アルバイト先がいっぱいあったらいいな
- ・大型ショッピングモールが欲しい
- ・若人が集まる町
- ・店←増加して欲しい
- ・自慢できる所
- ・新玉名駅の周りに人が賑わいそうなものを作る
- ・皆でワイワイできる場所が増えたらいいなあ
- ・もっと人が集まるまち
- ・買物やカフェ（女性目線）、勉強スペース（学生目線）があるまち

②暮らしやすいまちに関する意見（高齢者にやさしい、交通手段に困らないなど）

- ・今ある良さを認め、延ばせるまち、ひとづくり
- ・新しい人が入りやすい町
- ・市民が豊かに暮らせる街
- ・全世代が暮らしやすい街
- ・玉名市内を時間を気にせず、出かけることができる
- ・正社員で仕事をしていても、外来診察が20時までであれば、早退や休まずに診察にも行くことができる
- ・若者が子どもと生活したい町づくり
- ・住みやすい町、人が集まる所
- ・お年寄りの負担の少ない町
- ・若者が玉名に戻って来る
- ・子どもから老人までの一巡サイクル
- ・ラーメン以外のランチ場がほしい
- ・24時間明るい町
- ・車のない人も自由に動ける交通網
- ・大学生、高齢者（一人暮らし）が住みやすいまち
- ・交通手段に困らない
- ・玉名市に残って暮らしたいと思えるまちづくり
- ・老人だけでなく若者にも住みやすい町になってほしい
- ・交通手段が少ない（バス、電車の本数が少ない）
- ・坂道を少なくしてほしい（老人などのためにも）
- ・公共交通機関だけで移動できる町
- ・公共交通（特にバス）が充実して欲しい、マイクロバスでもいいから便数が増えてほしい
- ・医療時間を長くしてほしい（仕事をしている親が多いので助かります）
- ・学生にとって生活しやすい（バス、アルバイト先、遊び場など）
- ・交通機関の充実
- ・無理のない子育てができる町、子育てをするのにふさわしいまちづくり
- ・住む人も来る人にも優しいまち、住みよいまち
- ・交通網が発達したまち
- ・深夜でも食事ができるように
- ・お年寄りに優しい町になってほしい
- ・仲良く暮らせるまち
- ・子どもとお年寄りにやさしい、住みやすい、福祉の充実した市
- ・学校を卒業しても子ども達がずっと玉名にいたい、玉名で生まれ育って良かったと思える市
- ・高齢者の方、若者が元気で住みよい地域にできたら
- ・山、川、田園広がる中、ピンポイントの都市機能（必要最低限なんでもある）
- ・学生が楽しめるまち（まちづくりに参加できる、アルバイトに励める、図書館の充実、自分の学んだことを活かせるなど）
- ・高齢者が安心して暮らせるようにする

③安心・安全のまちに関する意見（子育て、防災など）

- ・高齢者、障がい者など、弱い立場の排除がなく、共に助け合って生きることができるまち
- ・将来安心して暮らせる町（年金をきちんともらえて手当がしっかりつく）
- ・街灯を増やす
- ・重点施策で防災対応を最優先に
- ・小児の夜間の病院が必要
- ・近所同士もっと仲良く
- ・夜が暗いので街灯を増やしてほしい
- ・あいさつをしたらあいさつを返してくれる町
- ・子育てをしている私たちが安心して暮らせるような町
- ・公園をもう少し整備して子どもが楽しめるようにする
- ・小児救急の充実
- ・地域住民との協働
- ・子どもに優しく、皆で育てる
- ・予防接種無料化（小・中・高）
- ・人が地域社会から排除されない町
- ・歩行者や自転車でも自然（景観）を楽しめる交通の整備、安心して利用できるための交通整備

④文化のあるまちに関する意見（歴史・文化、大学など）

- ・市外から人を呼びよせるために、まず文化面の充実を図る
- ・学園都市
- ・情報があって風情を感じる街へ
- ・風情ある町並みづくり
- ・新しいものと文化的なものが一つになった町
- ・若い人が大学に来る町
- ・横島、大浜等、歴史遺産の連携
- ・玉名の魅力を活かした自慢できるまち（田舎ならではのテレビで紹介されるような（県民ショー、ナニコレ、モニタリング））

⑤多世代交流のまちに関する意見

- ・若者（学生）と年寄りが共生できる町づくり
- ・交流
- ・学生と高齢者の交流があるまち
- ・学生と住民の交流の機会がほしい
- ・世代間の交流がある

⑥自然があるまちに関する意見

- ・自然を残しつつ発展して欲しい
- ・川、山、海の活用
- ・コスモスをたくさん植えて、自然を大切にしつつ、明るく住みよい町にしたい

⑦その他

- ・歴史・自然・文化・食・医療・道路・まつり…すべてがつながるまち
- ・基本的には現状維持（企業誘致、道の駅（農家主体）基本計画と同時に自治条例も振興していくよう）
- ・自営業と自営業の協働
- ・みんなが「玉名を好きだ」と思えるまち



玉名の未来図は？

市民70人が意見交わす

玉名市は10月31日、目指すべき街の将来像を市民が話し合う「たまな未来カフェ」を市役所で開いた。高校生や大学生ら若い世代も含めた約70人が、地元の魅力や課題について意見を交わした。

参加者は班ごとに分かれ、テーブルクロス代わりに敷いた用紙にペンでそれぞれ意見を書き込んだ。自然や温泉、おいしい食べ物など「自慢できる点」が挙げられる一方で、「書店が少な」「若者が集まれる場所がもっとほしい」「新幹線駅があまり活用できていな

相次いだ。参加者は意見を基に「若者が集う学園都市」「農業振興と企業誘致で『もうか街』に」などと、玉名市が目指すべき将来像を発表。高校生のグループからは「市内の観光名所を自転車で巡るサイクリングロードを整備する」と、具体的に提案も飛び出した。

市は、この日の意見や提案を、現在策定中の第2次市総合計画(2017～26年度)に反映させる方針。

(楠本佳奈子)